

ながいき農業だより

発行 長生農業事務所 茂原市茂原1102-1・長生農業改良普及事業協議会
 編集 長生農業事務所改良普及課 TEL 0475(22)1771 FAX 0475(25)2061
 URL <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-chousei/>

元気な長生農業人 その四十三

「殖生(はぶ)の恵」で地域を元気に! 地域の農地を託される組織へ

長南町 農事組合法人 長南町東部営農組合

長南町で水稲・小麦・大豆の栽培をしている「農事組合法人 長南町東部営農組合」を紹介します。

〈設立の経緯〉

昭和四十四年と四十六年に基盤整備が行われた際に、ライスセンターを導入し、東部営農組合が設立されました。当初は稲作の共同作業を行う組織でしたが、作業受託面積の拡大と共に経営受託の要望が多くなったことから平成八年には地域で信頼される経営受託組織として発展するよう農業法人として発足しました。

〈現在の取組〉

同組合ではブロックローテーションによる二年三作型の水稲・小麦・大豆栽培に取り組んでいます。現在は水稲約六〇ha、小麦と大豆をそれぞれ約四〇ha栽培しています。長南町は地域内外での米の食味評価が高く、地域の各種イベントでも好評です。特に、「コシヒカリ」と小麦焼酎、枝豆のオーナー制度の三つは殖生川の清流に育

まれた豊かな土壌で栽培されたことに由来し「殖生(はぶ)の恵」という統一ブランドで売り込み力を入れています。また、町のふるさと納税返礼品として米、焼酎、枝豆のオーナー券の提供を行い、人気を集めています。

〈今後の展望〉

現在約一〇〇haの広大な農地を管理していますが、今後も耕作面積は増えることが予想されます。



組合員の皆さん



麦収穫の様子

現在、地域の農業を守るために組織体制の見直しを行い、農業に意欲のある若手を従業員として受け入れるため、就業規則や作業マニュアル等の作成を進めています。また、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し、六〇haの基盤整備を行っており、大規模区画においてドローンや直進アシスト田植え機等のスマート農業技術を導入し、作業の省力化を目指しています。池田組合長は「地域の農地を守りながら、長南町を元気にしていきたい。」と目標を語ってくれました。

(改良普及課)

ねぎの排水対策を考える！ 排水の基本は地上排水

近年の集中豪雨により、ねぎでは定植後に水害にあい、生育不良を起こすことやほ場に入れず作業が遅れることがあり、排水対策の必要性が増しています。そこで、排水対策の基本と三〇馬力程度のトラクターで簡易に施工が可能な作業機について紹介します。

○排水対策の基本

排水対策の基本は地上排水の改善です。雨水の約七〇％は地上排水と言われており、明渠の設置、傾斜均平をつける等の対策方法があります。また、表層の物理性の改善も重要です。土が固く締まってしまうような土地では表層で滞水して地下へ浸透しません。もみ殻等の植物性有機物を施用し、土



カットドレーンによる暗渠設置

づくりを行いましょう。

耕盤破碎や暗渠の設置等の地下排水は地上排水を改善した後に実施し、ほ場周辺の排水溝の高さや地下の土質の調査をして、施工が可能かを確認するようにしてください。

排水対策が一人では難しい場合は地域で話し合い、機械の共同利用や耕作条件改善事業等の活用も検討してみてください。

○排水対策作業機の紹介

作業機には様々ありますが、今回は五月に農業事務所が開催した排水対策実演会で実演した機械を紹介します。

・溝掘機

ほ場に幅十五cm、深さ十五cm程度の明渠を掘ります。明渠を必ず排水溝につなげてください。

・サブソイラー

農業機械に踏み固められてきた耕盤を破碎し、地下への水浸透を改善します。耕盤の下に暗渠や礫層がないと効果が低いです。

・カットドレーンmini

地下に約八cm角の空洞を作り、無資材で暗渠を設置することができます。地下の土質が粘土であれば三年程度空洞を保持します。砂の場合は空洞が崩れてしまうため、施工できません。

(改良普及課)

トマト黄化葉巻病を 聞きまじょう

【トマト黄化葉巻病とは】

トマト黄化葉巻病は、タバココナジラミ（以下コナジラミ）が媒介するウイルスによる病気です。感染すると、生長点付近の葉が黄化して委縮し、生育が止まり大きな減収となります。

【対策ポイント】

①コナジラミを入れない

ハウス栽培の場合には、開口部に〇・四ミリメートル目の防虫ネットを張り、コナジラミの侵入を防ぎます。特に育苗時には、苗を防虫ネットで覆いましょう。また、感染苗を本圃に持ち込むと被害が大きくなります。感染が疑われる苗は使わないようにしましょう。

②コナジラミを出さない

発病株を処分する際、野積みをすると野良トマトが生え、感染源となる可能性があります。発病株はビニール袋に入れて枯死したのを確認してから処分しましょう。それが出来ない場合には、土中に埋める、処分場所を古ビニールで被覆するなどして、外へ露出しなないようにしましょう。

また、栽培終了後の蒸し込み作

業の際は、ハウス内の除草を行い、トマトを抜根し、熱に弱い資材や装置等は外に出してから蒸し込みましょう。

③コナジラミを増やさない

防虫ネットや発病株の処分などの物理的防除と薬剤による化学的防除を組み合わせ、コナジラミを増やさないようにしましょう。さらに、コナジラミが侵入しやすいハウス出入口付近、天窓下、ハウスサイド等に黄色粘着板を設置し、定期的に個体数をモニタリングしましょう。

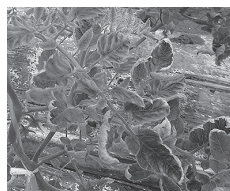
④圃場周辺を清掃する

ホトケノザやセイタカアワダチソウ等の雑草はコナジラミの生息場所となるため、除草を徹底しましょう。

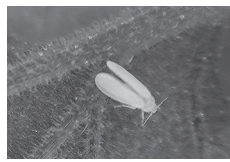
⑤最後に

トマト黄化葉巻病は全国のトマト産地で問題となっている病害であり、長生地域でも大きな問題となつていきます。トマトを栽培する際は、対策を適切に行い、被害を拡大させないようご協力をお願いします。

(改良普及課)



トマト黄化葉巻病



コナジラミ類

田んぼダムの 取り組みについて

ながいき農業だより279号において、流域治水における田んぼダムへの期待と問題点を示しましたが、今回は具体的に田んぼダムを取り組むにあたっての条件を取り上げます。

○田んぼダムとは？

一口に田んぼといっても、田んぼを構成する土は地域ごとに違い、おおむね山側から海側へ向かって粘質土、壤質土、砂質土と変化します。

また、田んぼで「水をためる」ことを可能とする畦畔は、構成する土の性格を強く受けます。それに加えて、畦畔の構造にも違いがあり、

- ①しっかりした畦畔
- ②やせた畦畔



写真① しっかりした畦畔



写真② やせた畦畔



写真③ コンクリート畦畔



写真④ 波板で補強した字畔

- ③コンクリート畦畔やU字溝
 - ④波板で補強した畦畔
- により、水の貯めやすさ・貯めにくさに差があります（左の写真①〜④を参照）。

このため、「田んぼダムに取り組んで水を貯めてください」と言われても、その地域にある田んぼでは、「どのような形で水が貯められる」ということを理解しないと、安全に「田んぼダム」を実施できません。

○田んぼの水の貯め方

一般的に、田んぼダムといえ、一枚の田んぼごとに「水を少し深く張る」ことが想像されますが、砂質土で出来ている水田や、②やせた畦畔、③コンクリート畦畔、④波板で補強した畦畔などでは、水田一枚ごとに「水を少し深く張る」という目的にはあまり適していません。

このような場合、排水路と水田

を一体と見なし、堰板で排水路の水を止め、道路で囲まれた多くの水田（農区単位）で同時に水を貯める方式もあります（下図参照）。

なお、この農区単位での「田んぼダム」には、排水路の上流から流れてくるものが田んぼに入ってきてしまう弱点があり、特に稲ワラが下流側の水田に集まるという問題が起きてしまうので、この処理を適切に行える仕組みが求められます。

○おわりに

流域治水において、「田んぼダム」を安全に行うには、しっかりとした畦畔が必要になります。これは、日頃から草刈りや畦塗り（くろ塗り）といった、維持管理が適切に行われていることが前提になることを示しています。それはとりも直さず水田農業が元気に継続して取り組まれていることを意味します。

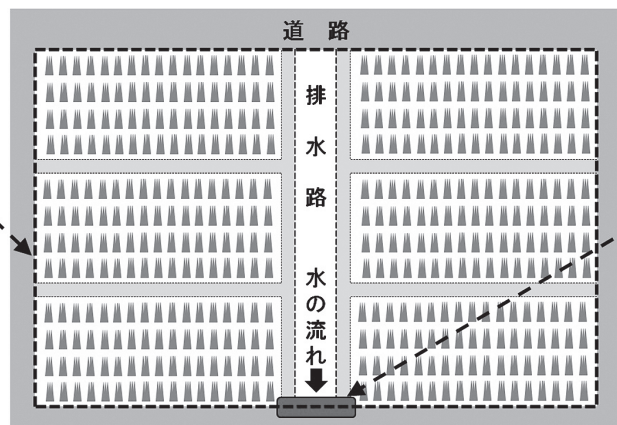


図 農区単位での田んぼダム

つまり、農地（水田）が適切に管理されて水田農業が持続的に営まれることで、地域の治水に役立つことにつながってきます。

農地の維持管理には、多面的機能支払交付金による活動や、中山間地域等直接支払制度など、農林水産省の補助事業を活用することができます。興味のある方は、最寄りの自治体や長生農業事務所指導管理課までお問い合わせください。

（指導管理課）

収入保険に 加入しましょう

収入保険とは、自然災害による収量減少や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償するものです。

○加入できる方

青色申告を行っている農業者
(個人・法人)

※加入申請時に、青色申告実績(簡易な方式を含む)が一年分あれば加入できます。

※収入保険と、農業共済、ナラシ対策、野菜価格安定制度などの類似制度は、どちらかを選択して加入します。

※令和三年一月からは当分の間の特例として、野菜価格安定制度の利用者が初めて収入保険に加入する場合、最初の二年間に限り収入保険と野菜価格安定制度を同時利用することができます。

○対象収入

農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体

○補填の仕組み

保険期間の収入が基準収入の九割(五年以上の青色申告実績がある場合の補償限度額の上限)を下回った場合に、下回った額の九割

を上限に補填します。

○保険料・積立金・付加保険料(事務費)

加入する場合は、保険料・積立金・付加保険料(事務費)を支払います。

保険料は掛捨てになります。積立金は自分のお金であり、補填に使われない限り、翌年に持ち越されます。詳細については、問い合わせ先に御確認ください。

令和四年度から収入保険に新規加入する千葉県民の方は、二万円を上限に初年度保険料の補助を受けられます。

補助対象

以下の要件を満たす方
①令和四年度中に保険期間が始まる方

②令和五年一月末までに積立方式による加入手続きをした方

補助額

初年度保険料(自己負担分)が六万円以上の場合二万円
三万円以上六万円未満の場合一万円

収入保険の詳細については千葉県農業共済組合わかしお支所
電話〇四七五―二三一―一五〇六
までお問い合わせください。

(企画振興課)

農業経営体育成セミナーを開講しました

5月31日に農業経営体育成セミナーの開講式を行いました。今年度は基本生10名、専門生8名、総合生7名が受講します。基本生(1年生)は、基礎的な技術の習得と仲間づくりを目標に研修を行います。専門生(2年生)は、それらに加えて、自分の経営上の課題を見つけ、解決に導く「プロジェクト活動」に取り組みます。総合生(3年生)は、自分の経営の把握・分析を行い、将来の営農計画を作成して、修了となります。セミナー生は毎年募集していますので、受講希望の方は、改良普及課までお問合せください。

(改良普及課)



開講式参加者で記念撮影

千葉県立農業大学校 令和5年度 入学生の募集

本県農業の担い手及び指導者を目指す入学生を募集します。

▶**募集人員** 農学科80名、研究科20名(推薦入学で募集する者を含む)

▶**試験期日** 【推薦入学】令和4年11月1日(火)

【一般入学】

A日程 令和5年1月6日(金)

B日程 令和5年2月14日(火)

▶**願書受付**

【推薦入学】

令和4年9月30日(金)～10月14日(金)

【一般入学】

A日程 令和4年12月2日(金)～12月15日(木)

B日程 令和5年1月20日(金)～2月2日(木)

▶**試験実施場所**

【推薦入学】千葉県立農業大学校山武校

【一般入学】同東金校

▶**問合せ** 千葉県立農業大学校東金校試験事務局

0475(52)5121